

視察報告書

所属会派	おかげや未来研究室	氏名	渡辺太郎
視察の名称	会派「おかげや未来研究室」行政視察		
日 程	令和 7 年 8 月 1 日(金)10:00~12:00		
視察先	新潟県上越市「地域自治区」について		

【概要】

上越市は人口 178,845 人 (R. 7. 1) 面積 973.89k m²。昭和 46 年 4 月に高田市と直江津市合併して上越市が誕生。平成 17 年 1 月に上越市と周辺 13 町村が合併して新上越市がスタートした。

合併に伴う地域住民の不安の解消等から市内全域に「地域自治区」を設置。地域自治区とは、それぞれの区域に地域の意見の取りまとめを行う「地域協議会」と「事務所」を置く、地方自治法に基づく制度。

(地域自治区制度の導入経緯)

- ・平成 17 年の市町村合併に伴い、13 の旧市町村に合併の特例として「地域自治区」を設置し、各区に「地域協議会」と「総合事務所」を置く。また、各区に地域協議会委員を選任。
- ・平成 20 年に 13 区を地方自治法に基づく制度へ移行し、上越市自治基本条例を施行。
- ・平成 21 年に合併前上越市の区域に 15 の地域自治区を設置。
- ・平成 24 年に全 28 区の地域協議会委員を改選し、以後 4 年毎に改選。

【内容】

地域自治区は、自分たちのまちを自分たちの活動で良くしていく「自主自立のまちづくりの推進」と地域の課題を議論し、地域の意見を市政に反映させる「市政に地域の声を届ける」のが目的。市の全域に地域自治区を設置、活発な地域協議会の活動、地域協議会委員「公募公選制」で選任、自治区全域を活動範囲とする住民組織の存在が特徴である。

地域協議会委員は公募公選制に基づき市長が選任(任期 4 年)、定数各区 12~20 名。委員は、市の非常勤特別職、報酬は無報酬(交通費相当額 1,200 円は支給) 令和 6 年 4 月の 28 区の充足率は 61.3%、233 人/380 人。最小 25 歳から 86 歳まで、平均年齢は 61.7 歳。

地域協議会は、会長が招集し、概ね毎月 1 回、日中または夕方に開催している。取り組み事例として、審議を行うための現地視察、出前地域協議会、団体等との意見交換、地域協議会だよりの作成配布、会長会議の開催など。運営に係る令和 7 年度予算は 11,722 千円。(地域協議会の開催 6,784 千円、委員の研修 1,942 千円、地域協議会だよりの発行 2,996 千円) です。

【感想】

地域協議会の委員は地域住民から選出されるが、地域協議会は、市長の付属機関であり事務所職員は行政職員である。地域協議会委員経験のある市議会議員(定数 32)は 3 名とお聞きする。

岡谷市の区長会、区に該当するのが、上越市の場合は地区町内会長協議会、町内会となる。人口減少や少子高齢化が進展する中、岡谷市における支所機能や自治組織区の在り方について、上越市の取り組みは大変参考になりました。